

越前和紙の魅力発信と誘客拡大について

福井県・県和紙工業協同組合・墨絵作家 ^{にしもとゆうき}西元祐貴氏が、東京都目黒雅叙園で開催される「『和のあかり×百段階段』展2016」にコラボ出展することにより、越前和紙など本県の魅力を首都圏から発信し、本県の知名度向上と誘客拡大につなげる。

「『和のあかり×百段階段』展2016」

- (1) 期間：平成28年7月1日（金）～8月28日（日）〔59日間〕
- (2) 場所：東京都目黒区 目黒雅叙園「百段階段」（東京都指定有形文化財）
- (3) 主催等：

ア 主催：「和のあかり展」実行委員会

目黒雅叙園、福井県、福井県和紙工業協同組合

北海道函館市、青森県青森市、青森ねぶた祭実行委員会、青森県五所川原市、宮城県仙台市、仙台七夕まつり協賛会、秋田県秋田市、秋田市竿燈会、墨田区、すみだ北斎美術館、すみだ水族館、江戸川区、東京都浴場組合、松竹衣裳、富山県富山市、富山ガラス工房、石川県金沢市、岐阜県美濃市、美濃市観光協会、滋賀県米原市、奈良県奈良市、島根県浜田市、浜田市観光協会、山口県柳井市、柳井市地域ブランド推進協議会、柳井金魚ちょうちん祭り協議会、福岡県みやま市、みやま市観光協会

イ 後援：外務省、観光庁、北海道、青森県、宮城県、秋田県、東京都、

すみだ地域ブランド推進協議会、目黒区、めぐろ観光まちづくり協会、富山県、石川県、岐阜県、滋賀県、奈良県、島根県、山口県、福岡県

(4) 県のコラボ出展の内容

ア 「百段階段」にある7つの部屋の一つである「十畝の間」に、新進気鋭の墨絵作家 西元氏が大判の「越前和紙」に描いた、福井に伝わる伝説をモチーフとした龍や天女の墨絵の展示

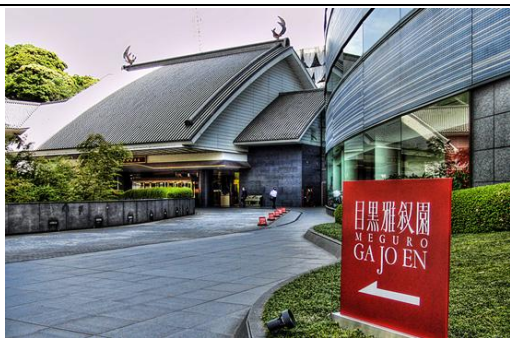
イ 正面玄関ホールに「越前和紙 福のあかり」をテーマにした本県のPRコーナーを設置

ウ 目黒雅叙園展示売店での「越前和紙」をはじめとする県内伝統工芸品の販売

(5) 展示全体の概要

全国から「祭り」、「アート」、「職人」、「伝統芸能」の4つのジャンルを中心に30を超える出展者が一堂に会する。

※今回の展示会は、昨年につき2回目。昨年は、7月3日（金）から8月9日（日）の38日間で約6万人が来場。



目黒雅叙園

昭和3年（1928年）、料亭として創業した日本国内最初の総合結婚式場

結婚式場、ホテル、レストランなどの複合施設で、年間約1,500組の婚礼を執り行っている



百段階段（目黒雅叙園）（東京都指定登録有形文化財（建造物））

9 9 段のケヤキ板の階段と階段沿いに作られた 7 つの部屋で構成された木造建築（昭和 10 年建築）
各部屋の欄間、天井には日本画家が仕上げた絵画が飾られているほか、様々な装飾がなされている。



NHK 総合「news watch 9」オープニングビジュアル



西元祐貴（にしもと ゆうき）氏

鹿児島県出身（28 歳）、今国内外で最も注目されている新進気鋭の墨絵アーティスト
龍や侍など古典的なモチーフやスポーツ選手、ミュージシャンなど斬新なモチーフを描く
月の半分は福井市内のアトリエで創作活動を行っている。

担当：観光振興課